



鉄道高架化通信



第34号

令和5年10月発行
発行：豊田市建設部街路課

～列車接近装置の運用が始まります～

列車接近装置について

10月以降で列車接近装置の運用を開始します。列車接近装置は、工事作業員に列車の接近を知らせ工事中の列車の安全な運行と近隣住民の皆様の安全確保を目的に設置するもので、列車が接近するとランプが点滅します。

設置位置は、列車の接近を監視する作業員の配置場所と仮線路の見通し等から決定しています。近隣住民の皆様には光の点滅でご迷惑をお掛けしますが、ご理解ご協力をお願いします。

<列車接近装置>

設置場所：花園町小平田～若林東町上ノ田

運用時間：午前8時～午後6時（工事を実施する場合に作動）

その他：工事の状況により時間が前後する場合があります。

設置例（知立）



設置予定場所（若林）



歩行者通行止めについて

鉄道高架化通信第31号でご紹介した八橋高架区間の工事に伴い、花園町一本木付近の名鉄を横断する歩行者専用道路が通行止めとなります。詳細は現地案内看板でご案内します。

また、工事用車両を住宅地側から搬入します。近隣住民の皆様には大変ご迷惑をお掛けしますが、ご理解ご協力をお願いします。

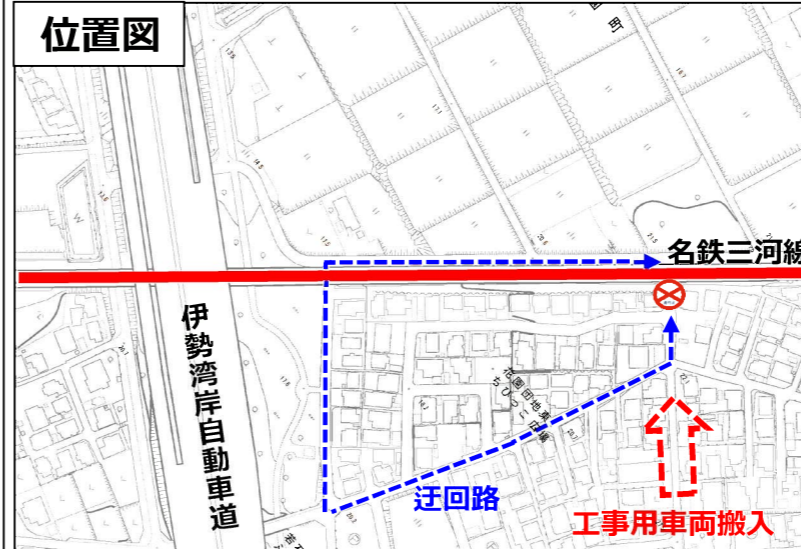
【交通規制】

<場所> 豊田市花園町

<期間> 令和5年10月下旬～11月中旬
(うち1週間程度)

<時間> 午前9時～午後5時

位置図



ちょっと途中下車

～神輿が踏切を渡るのもあと数回か～

厳しかった夏の暑さから秋を感じる季節となり、今年も残すところ3か月となりました。毎年恒例の若林地区の秋祭りが10月15日に行われると伺いました。先日、若林自治区よりご提供いただいた「ふる里若林」を読んでいると、平成10年の記事に、「昔の祭礼と違い、今は子供神輿の奉納でにぎわう」との記事がありました。

仮線工事着手以降、秋祭りの日は、踏切を神輿が渡るということで、配慮のうえ工事を行ってきました。今年も同様の予定です。高架本体工事が本格化し、高架切替への期待が膨らみますが、高架切替後には秋祭りの光景が少し変わるかもしれません。秋祭りで神輿が踏切を渡るのは、地域では見慣れた光景だと思えますが、それも見られなくなります。今年の秋祭りでは、踏切を渡る神輿を写真に収めてみてはいかがでしょうか。

若林自治区提供「ふる里若林（平成10年10月15日号）」より



昔は祭礼には先生が引率し参拝

今の祭礼は子供神輿の奉納でにぎわう

事業スケジュール

① 用地の取得

② 準備工事

③ 工事説明

④ 仮線工事

令和3年7月着手

⑤ 仮線への切替

令和5年3月切替

⑥ 高架本体工事開始

令和5年5月着手

⑦ 高架本体への切替

⑧ 仮線撤去・側道等の整備

⑨ 工事完了

問合せ先

豊田市建設部街路課 建設第3担当
電話番号：0565-34-6651（直通）
FAX番号：0565-35-8196
メール：gairo@city.toyota.aichi.jp